

経済学部と四極会との意見交換会



令和2年2月26日、今年度2回目の経済学部と四極会との意見交換会が、レンブラントホテル大分に経済学部から16名、四極会本部から18名、大分県内支部長6名、世代間交流会代表4名が集まって開催された。

(開会)

石川公一四極会長が、100周年記念事業に力を入れましょうと開会挨拶。次いで立った高見博之経済学部長は、経済学部としても地域貢献・地域連携に努めており、募金依頼のための企業訪問も積極的に進めたいと挨拶された。



石川公一会長



高見博之経済学部長

(100周年事業計画)

議題に入り、野々下俊昭 100 周年記念事業実行委員長から記念事業の計画について構想、提案を含め詳しい説明があった。経済学部の実業として市民講座、経済トップセミナー、黒土記念講堂の竣工式、垂れ幕の設置等。四極会の事業として 100 周年記念碑の設置、記念ツアー等。記念式典と祝賀会の進め方についても、今後の検討事項を整理して説明された。



野々下俊昭 100 周年事業実行委員長

(支部等からの報告)

参加者から主として募金について取り組み状況の説明があった。

○高井道晴大分支部長：支部に募金推進委員会を設置し、これからは先生方ともタッグを組んで地上戦を展開する。

○玉井鉄之募金推進小委員長：現在までの募金実績、今後の個人募金の積み上げ方策、4 月から開始する法人募金の依頼について。



高井道晴大分支部長



玉井鉄之募金小委員長

○栗原稔別府支部長：

1 月末で目標の 80% 達成。支部の積立金拠出とともに会員の戸別訪問等を通じて上乗せを図る。



栗原稔別府支部長



窪田章八郎中津・豊前支部長

○窪田章八郎・中津・豊前支部長：支部役員が率先して募金し、現在の達成率 50%。日頃同窓会活動に参加していない先輩からの高額寄付金も。

- 森昌哉・玖珠支部長：募金をきっかけに会員の同窓意識を高め、支部の活性化を進める。
- 花岡雅州・宇佐・高田支部長：次回の会では胸を張って説明できるよう、募金を進める。



森昌哉玖珠支部長



花岡雅州宇佐・高田支部長

- 甲斐一義・大分銀行支部長代理：行員の役職や年齢に応じて依頼額に差をつける等により目標を達成した。
- 奥川隆雄生・東京四極会理事長：募金について、いくつかの方策を検討中。目標は達成したい。
- 山口勇：成和会代表：経済学部受験者の偏差値を上げる工夫が必要。高校生段階で決まる奨学金制度等はできないか。大学の校門を魅力あるものに。



甲斐一義大分銀行支部長代理



山口勇成和会代表

(懇親会)

会議終了後、懇親会が開かれた。和田康生参与のご発声で乾杯、最後は大崎美泉大学理事が締めのご発声をされ、本日の日程を終了した。